

社会課題解決のためのビジネスモデル提案プログラム

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月17日 ～2023年08月25日	日本	バンドン工科大学	・システム理工学専攻、環境システム学科、生命科学科、機械制御システム学科 ・修士1年生、学部4年生、修士2年生	(芝浦工業大学) 学生28名、学生バイト5名、教員3名 (バンドン工科大学) 学生19名、学生バイト2名、教員4名	小山 友介(環境システム学科)、後藤 裕介(電子情報システム学科)、市川 学(環境システム学科)



図1 祭り

2023年7月25日から8月24日まで、芝浦工業大学市川研究室の学生42名とバンドン工科大学の学生19名、合計61名が参加し、Shibaura Business Model Competition (SBMC)に向けたビジネスプラン策定のための活動を実施した。活動は、7月25日からオンラインで始まり、8月17日からは豊洲 キャンパスを活動拠点とした。計4回のDesign Review (DR)を行い、各班が新規事業のプランを収支計算込で提案した。オンライン活動では、班内での 交流、新規事業の背景決定、ブレインストーミング、アイデア出し、市場調査、ロジックツリーの作成などが行われた。豊洲キャンパスでは、PBLの一環として海外学生との交流を重視し、World Cafeなどの活動を通じてアイデアを修正し、システム工学手法に基づいた設計を行った。最終日には、実際の事業プラン提案を想定し、教員陣を投資家とみなしてプレゼンテーションを行った。評価方法は、教員陣から各班への投資を行う形式で、学生は従来のPBLとは異なる緊張感の中でプレゼンテーションを行った。活動の一環として、海外学生との交流を促進した。食事を共にし、日本の夏祭りを案内するなど、ホスピタリティを提供し、好評を頂いた。

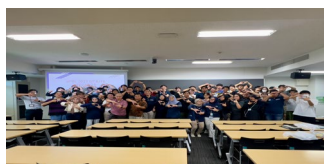


図2 集合写真



図3 作業風景1



図4 作業風景2